

責任ループ

ミサイル編

「結局誰の責任なんだ？」というのが多い原子力の世界ですが、最近話題のこの話でもやっぱり同じよう。。。

政府 | 世耕経済産業大臣
2017年9月15日会見 (参考資料①)

Q：北朝鮮のミサイル発射の際の原子力施設の措置について

武力攻撃事態の認定が実際に行われた場合には、
(中略) 原子力規制委員会から直ちに運転停止命令が行われるということになるわけです。(中略)
特に緊急を要する場合には、(中略)
事業者みずからの判断で直ちに原子炉の運転を停止することになっているわけでありませう。

Q：事業者が独自で判断することは難しいのではないかと？

関係機関、事業者と原子力の安全
ということになりますので、
基本的には規制委員会の話になりますけれども、
経済産業省としても事業者を所管する立場から、
規制委員会や事業者とも連携を密にして、
いろいろな事態に対して、事業者みずからが迅速な対応
ができるよう、取り組んでまいりたいと思います。

規制委

更田委員長

2017年9月19日会見 (参考資料②)

Q：ミサイルによる攻撃の被害想定はある？

私たちの原子力規制に関して、
そもそも武力攻撃に対する備えの要求であるとか、
そういったものを予定しているものではありません。
今、私たちがよって立っている原子炉等規制法、
あるいは災害防止法等々に関して。
私たちは与えられている役割に関して規制を行っていて、
(中略)

武力攻撃に関しては、
やはり国全体として取り組むべきものであって、
(中略)

想定に基づく検討をしているわけではありません

国会

衆議院安全保障委員会

2017年4月25日 (参考資料③)

横路孝弘氏の質問

例えば、核弾頭が落ちた場合どうなるか、
あるいはそれが原発の上に落ちたらどうなるか、
そういう被害想定はやっているんですか、やっていないんですか。

稲田防衛大臣 (当時) 答弁

さまざまな状況について想定をしておりますけれども、
細部については差し控えるべきだと考えております。

最後に一言

政府は「それは規制委員会の話」と言い、規制委員会は「国全体として取り組むべき」と言い、国会では議論
どころか、被害を想定しているかどうかすら答えるのを「差し控える」(まあ、何もしてないってことですよ
ね。やってるかやってないか？に答えられないんですから)

原発再稼働でも似たような話があります。政府は「規制委員会の判断を尊重」と言い、規制委員会は「基
準に適合しているかを見ているだけで、稼働するかしないかは判断しない」といい、立地自治体の長は「最終
的な責任は国にある」と言う。。。

次の選挙はこのやり方を今後も許すのかどうか？を判断する選挙でもあります。

参考資料

- 経産省HP 世耕経済産業大臣の閣議後記者会見の概要 平成29年9月15日
<http://www.meti.go.jp/speeches/kaiken/2017/20170915001.html>
- 原子力規制委員会HP 委員長定例会見 平成20年09月27日速記録
<https://www.nsr.go.jp/nra/kaiken/index.html>
- 国会会議録検索システム 第193国会 衆議院 安全保障委員会 第7号
<http://kokkai.ndl.go.jp/SENTAKU/syugiin/193/0015/main.html>